

2019年度 秋季大会 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

後援：松江市

開催日：2019年11月23日（土）・24日（日）

会場：島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

日本語教育学会では、最新の研究と実践の成果の発信・共有や、参加者間の交流・ネットワーキングの促進を目的とした大会を年2回（春・秋）開催しており、大会委員会はその企画・運営を行っています。今年度の秋季大会には523名の参加がありました。公募によるパネルセッション4件、口頭発表24件、及び、ポスター発表29件の発表が、審査・運営協力員の協力を得て行われ、大変盛況となりました。参加者による事後アンケートで寄せられた会場面の課題については、以後、改善に向けて検討してまいります。このほか、一般公開プログラム「地域を支える多文化人材のキャリア」（社会啓発委員会）、交流ひろば（支部活動委員会）、ぷらさ da わかば（チャレンジ支援委員会）、研究倫理セミナー（調査研究推進委員会）なども同時開催され、充実した2日間になったと思われます。23日（土）に行われた懇親会には109名の参加者があり、参加者同士の積極的な交流が見られました。大会プログラム及び発表要旨は[こちら](#)をご覧ください。



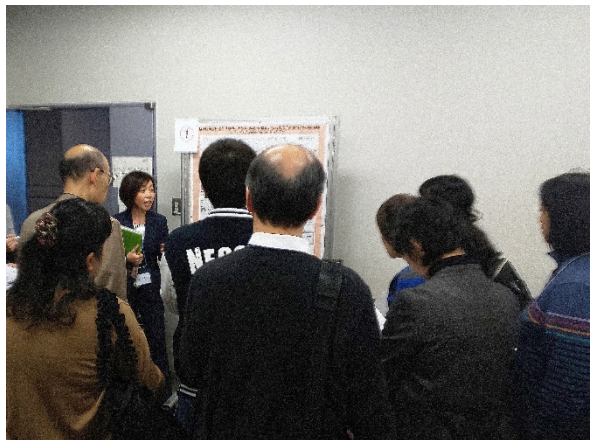
開会式（23日）



パネルセッション（23日）



懇親会（23日）



ポスター発表（24日）

次回は2020年5月30日（土）・31日（日）に一橋大学（東京都国立市）にて開催予定です。

（文責：大会委員会）